

「証券決済制度改革推進会議」(第1回)議事要旨

【開催日時】 平成15年6月17日(火)午前10時~11時30分

【場 所】 日本証券業協会 第1会議室

【主な議題】 1. 当面の検討課題について
2. その他
(1) 「証券決済制度改革の推進に向けて」(報告書)のマイル
 ストーンの修正について
(2) 株券不発行法制の検討状況について
(3) 証券決済システム法制に係る最近の見直し状況について
(4) SIA STP Spring Conference について

【議事要旨】

議事に先立ち、神田座長より、「当推進会議は、前身である「証券決済制度改革の推進のためのワーキング・グループ」の提案に基づき、去る5月27日に開催された「証券受渡・決済制度改革懇談会」において設置されたものであり、当日の懇談会において、当推進会議の座長就任を要請されたので、私が座長を務めさせていただく。」旨の発言があり、引き続き、事務局から、メンバーの紹介を行った。

《座長代理の選出》

議事に先立ち、神田座長より、UFJ銀行の曾我次長、住友信託銀行の巽主任調査役、野村證券の茅野次長、大和証券SMB Cの吉田次長の4名の方々に座長代理への就任依頼があり、4名の承諾が得られた。

その後、議事に入った。

1. 当面の検討課題について

神田座長から、当推進会議が設置された経緯について説明が行われ、引き続き、事務局から、当推進会議の性格付け等も含め、大要、以下の点について説明を行った後、事務局が提示した当面の検討テーマについて意見交換を行った。

主な意見

- ・ 株券以外の有価証券の担保の取扱いについても検討してはどうか。
- ・ 国債のR T G S化が2001年1月に実施されるに際し、国債の日銀ネット上での決済における「記事欄取扱いルール」を日証協の場でまとめていた。今回、(ペーパーレスの下で)この点について見直しが必要になるのではないかと。
- ・ 重層構造下での決済の円滑化を図るために、決済途上証券の担保化について検討してはどうか。
- ・ S T P化の推進に伴う実務取扱い上の諸問題に関しては、決済プロセスの途上で生じる障害となる点を洗い出して、解決していくというところまで含めて検討する必要があると思う。
- ・ 来年5月に一般振替D V Pが稼働する段階で、外国人取得制限銘柄が現物でしか決済できないということでは問題があるので、現実的にカバーできる解決策(振替制度に乗せて決済する等)について検討する必要があると考える。
- ・ 社債等振替法下の多層構造化した口座振替・口座管理に起因するリスクについて、日銀から論文が出ている(http://www.boj.or.jp/set/03/set_f.htm)が、実務界でも認識して、契約面等の見直しについて検討していくことも必要であると思う。
- ・ 間接保有証券準拠法の問題は、重層構造下の口座管理機関の決済スキームと関連するので、海外の動きを睨みながら、国内においても実務サイドへの影響等について整理していく必要があると考える。
- ・ 株券不発行制度については、公開会社については、一斉移行方式で議論が進められているが、今後、投資家サイドにわかりやすい形で示していく必要がある。株式は取引所上場商品であり、この関係で、証取法第2条関係の有価証券についても、上場商品については、基本的には株式と同様のスキームで移行することが望ましく、コスト面でもメリットがあると思う。また、上場商品の中には、E T Fのような無記名の証券があるので、一斉移行方式に

ついて早期に法律的な手当てを何らかしていただく必要があるかもしれないので、その点について検討が必要と考える。

- ・ 証取法第2条に外国証券がある。ペーパーレス化との関係について、これまで議論がされていないので、課題として検討していった方がよいのではないかと。

以上の意見を踏まえ、今後、検討課題の整理等を行った上で、当推進会議の下部機関となるワーキング・グループの設置等について詰めていくこととなった。なお、座長より、「ワーキング・グループの設置要綱、メンバー構成等については、まず、座長代理の方々と事務局と調整をさせていただいた上で、メンバーの方々に改めて連絡させていただくという形で進めたい。」旨の発言があり、異議なく了承された。

引き続き、座長より、「ただ今の事務局案以外に、当推進会議において取り上げるべき検討テーマについて、意見交換を行いたい。」旨の発言があり、意見交換が行われた。

主な意見

- ・ 当推進会議の主要取組み事項の1点目として、「証券決済制度改革に係る俯瞰的・横断的な進捗管理及び調整」というものが挙げられている。これは、報告書（「証券決済制度改革の推進に向けて」）の中で記載されていたプロジェクト・マネジメント機能のことだと思うが、これについては、当推進会議で取扱うのか、それとも当推進会議の下部ワーキングや座長代理を含めた幹事会等で取扱うこととなるのか。

基本的には、全体的な課題のチェックということなので、当推進会議で取扱うことを予定している。

2. その他

(1) 「証券決済制度改革の推進に向けて」(報告書)のマイルストーンの修正について

神田座長より、「昨年11月、証券決済制度改革の実現に向けての全体像の明確化、検討課題の整理、改革のスケジュール(工程表)等について報告書を取りまとめたところだが、その後、(株)証券保管振替機構の検討状況等が進展し、マイルストーンについて一部修正する必要が出てきている。この点について、事務局から説明する。」旨の発言があり、引き続き、事務局から主な修正点について説明を行った。

修正版については、今後調整を行った上で証券決済制度改革推進センターのホームページに掲載することとなった。

(2) 株券不発行法制の検討状況について

神田座長より、「現在、株券不発行法制について、法制審議会会社法部会において検討が進められているところである。本日は、法務省の担当官から、今後の審議予定等について、差し支えない範囲で御報告をいただきたい。」旨の発言があり、引き続き、法務省担当官より説明が行われた。

なお、中間試案で両論併記されていた3点については、大要以下の説明が行われた。

- ・ 1点目は、公開会社について、ペーパーレスに一斉に移行するのか、それとも、公開会社についても各社の定款の定めによって個別に移行するのかという問題である。この点については、一斉移行案一本に絞る方向で検討が進められている。2点目は、株券回収の問題である。公開会社については、株券を回収しないこととするが、一斉移行日時点における保振制度利用会社以外の会社については意見が分かれている。株券回収を不要とすべきだという意見が多数であったが、株券を回収すべきだという意見もかなりあったので、これについては、多数意見の方を本案、少数有力意見の方を別案ということで審議いただいている。3点目は、振替制度利用会社における期中の単独株主権・少数株主権の行使の方法についてである。これは、一斉株主通知とは

別の個別株主通知をし、その通知をしてもらった人が権利行使を行うものであるが、その継続保有期間の算定起算日をいつにするのかということである。これについては、非常に多数の意見が口座簿基準案であったので、口座簿基準案を残す方向で検討が進められている。

(3) 証券決済システム法制に係る最近の見直し状況について

神田座長より、「本日は、金融庁の担当官から、今後の有価証券ペーパーレス化への取組み状況等について、差し支えない範囲で御報告をいただきたい。」旨の発言があり、引き続き、金融庁担当官より、大要以下のとおり説明が行われた。

- ・ 株券だけではなく、様々な有価証券についてペーパーレス化が図られることになるので、それらの実務的なスキームや必要となる法制面の手当て(法律改正、政省令改正)などの対応について、なるべく早期に教えていただきたい。今回は、いわゆる証券決済システム改革の第3弾として、法制を構築していくことになるが、これでほぼ完成という形なると思われる。
- ・ CPのペーパーレス化は本年3月末から稼働しているが、2千億円程度の発行にとどまり、手形CPの20兆円と雲泥の差がある。手形印紙税の特例は来年3月末が期限であり、延長は難しいと考えている。発行体・ディーラーそれぞれ立場が異なり不協和音もあるようだが、これで移行が遅れると悲しいので、推進会議で一層の円滑なペーパーレス化への移行について検討してもらうのもよいのではないかと考えている。

主な意見

- ・ (株)証券保管振替機構としては、これまで中央インフラとして、限られた時間内に、どういう制度を用意できるかという観点から整備を図ってきた。今後、使い勝手がよいのかどうか、また、当初想定していなかった不都合があるのかどうかについて、このような場、あるいは、当社の会議体の場で御意見をいただきたい。また、重層構造になると、当社だけでは対応できない部分が

出てくるので、皆様方から御意見をいただき、使い勝手のよいシステムを構築していきたい。

(4) SIA STP Spring Conference について

神田座長より、「去る5月19日、20日の二日間、SIA（米国証券業者協会）において、STP Spring Conference が開催された。事務局から、概要について報告する。」旨の発言があり、事務局から報告を行った。

以 上

お問い合わせ先

日本証券業協会 証券決済制度改革推進センター TEL. 03-5649-3980

本議事要旨は暫定版であるため、今後修正があり得ます。